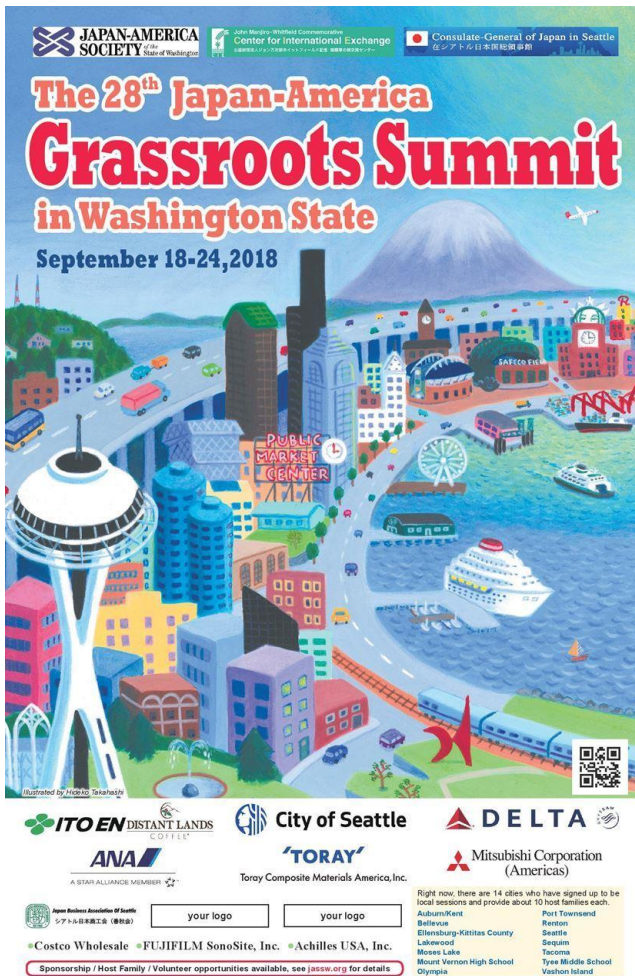




2018.03.28 News 米ワシントン州シアトル日米協会ディレクターが来訪

先月シアトルで開催のワシントン州日米協会主催シンポジウムをコーディネートされたオールソン明子氏（プログラム&オペレーション ディレクター）氏が、3月30日（水）未来を創る財団を来訪。石坂代表理事のシアトル訪問への答礼と今後の協力関係を協議。



今回の来日は、9月に予定されている

Japan America Grassroots Summit

<https://jassw.info/event-2785751>

「日米草の根交流サミット」の参加プロモーションが目的。このサミットは、米ワシントン州日米協会の呼びかけで、各年日米で交互に開く大会。今年で28回目。オールソン氏は3月2日に来日し、1カ月かけて日本各地を巡訪している。

海を越えて、地域と地域をつなぎネットワークを深める試みは、グローバル化時代のさきがけといえる。地域活性の観点からも、新たな視点の国際交流としても興味深い。全米の日米協会のなかでもワシントン州の日米協会 <https://jassw.info> の活動は群を抜く印象を受けると、米国勤務が長い石坂代表理事がシアトル訪問の感想を述べている。

シアトルには、移住者の他、米国企業で働く人、研修で滞在している人など、予想以上に日本人の在住者が多い。

オールソン氏は、別の企画として、女性活躍テーマもあげた。

未来を創る財団では、第一次中期計画で、女性活躍も4大テーマの一つとして取りくんでいるが、長時間労働の根源にある、日本社会の低生産性の改革からまず着手の予定と説明。このアプローチに、女性の立場からオールソン氏も大賛成。同協会の企画が具体化すれば、未来を創る財団も、なんらかの形で参加協力することを約した。

